

## ■南部経済回廊 Vo.2(ミャンマー:ダウエイ)について■

こんにちは。

島根・ビジネスサポート・オフィス担当の藤井邦夫です。

今回は、2月の南部経済回廊の投資環境調査で訪問したミャンマーのダウエイについて視察の報告をさせていただきます。

南部経済回廊：ミャンマー・タイ・カンボジア・ベトナムと4カ国を横断する経済道路  
(ミャンマー・ダウエイ～ベトナム・ホーチミン)

右図の赤丸がダウエイとなります。バンコクより西へ約350km、タイミャンマー国境より約170kmの南部経済回廊の西側（ミャンマー側）の終着点となります。

今回視察に伺ったのは、このダウエイにて開発されている経済特区(Dawei SEZ / ダウエイ経済特別区)です。



このダウエイ経済特区は、深海港を整備し、重厚長大産業の集積地を整備する構想となっています。この経済特区が完成すると、太平洋に面するベトナム・ホーチミンからカンボジアを抜けてタイ・バンコク・カンチャナブリを抜けアンダマン海に面するダウエイまでの陸路による物流ルート+深海港が実現します。これは今まで各地から船にてインドシナ半島を周回し、マラッカ海峡を越えていたインド・欧州向けのモノの動きが大きく変わる可能性を秘めております。

自動車をはじめとする工業製品や加工食品などを国内で生産し、他国へ輸出しているタイにとって、インド洋への物流ルート確保は製品の輸出・材料の輸入、その両面においてメリットが大きいと、この経済特区の開発に積極的な姿勢を示していたがなかなか開発が進まなかったようです。そこで、最近になって日本も含めミャンマー・タイ・日本の3国で開発を進める事が報道発表され南部経済回廊を語る上で話題の地域となっています。

しかしながら、あまり具体的な現地の情報などが入ってこないためこの度自ら視察に伺いました。まずダウエイが位置するタニンダーリ管区へのアクセスは空路・航路に制限され、陸路は、道路整備や治安の問題で外国人の利用は禁じられています。このような事から分かるように、タイの国境からダウエイまでの道路は、ほとんど開発が進んでいません。計画では、タイとの国境からダウエイSEZまでの約140kmの区間は、片側2車線の舗装道路を整備する事になっています。

また、肝心の工業団地開発も開発規模が大きすぎる事もあり、何も動いていないわけではないが現状では、投資の判断の俎上の載せる段階ではないというのが私の素直な感想です。深海港ができる予定の海外線が、きれいなビーチリゾートのような状況だったのが印象的でした。

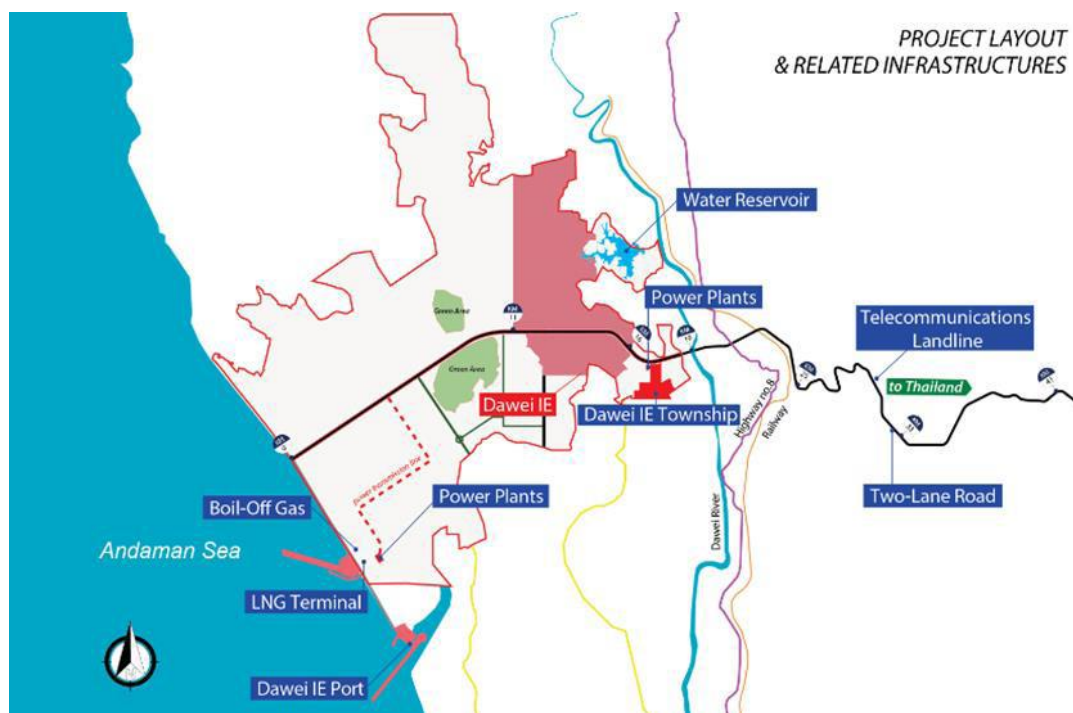
地理的な優位性や重要性は確かであるため、期待しすぎる事のないレベルで開発の状況を適宜抑えていくというのが、現実的な対応だと考えております。

次ページにSEZの計画全容と現地の写真をいくつか掲載いたします。ご参考下さい。

<ダウエーSEZ 計画>

鉄鋼業・石油化学産業をはじめとした重工業、それに付随する裾野産業・その他軽工業が入居する工業団地エリアを中心に、20万人が居住できる住居エリア、病院や学校、商業施設を備えた商業エリアなどを、総面積約20,000ヘクタール（東京ドーム約4,200個分）の広大なエリアに造成予定

物流港は2つ、うち小規模な一般貨物対象の港（Small Port）が1つ既に建設済。今後整備予定のメイン港は水深20メートル、港幅150メートルの深海港で、大型タンカーやコンテナ船が着港可能。年間150万トンの取扱量が可能となる予定



計画図（出展：MyanDawei Industrial Estate Co.,Ltd ウェブサイト）



SEZ 内の道路



完成済みの Small Port

まだ舗装されているエリアは無い



正面、タイ側国境へ続く道路（未舗装）



深海港予定の海岸線



SEZ へのアクセスする道路、橋



SEZ 内 整地が進んでいるエリア



ダウエー空港 外国人の移動が制限されており、空港内で入管手続きがある



## ☆☆タイから便り☆☆

～タイのお酒～

タイのお酒とは、ビールとメコンウィスキーの2種類があげられます。

まず、最初はビールについて紹介させていただきます。ビールは、一番有名なシンハー以外にもチャーン、レオ、タイガー、クロスター、などが国産品として発売されている銘柄となっています。その他にも、外国銘柄であるカールスバーグ、ハイネケンがタイでライセンス生産されているので国内でよく販売されています。

また、東南アジアではビールに氷を入れて飲む習慣があります。

これは、やはりどの国の人もビールは冷えているほうがおいしいと考え、冷蔵庫の普及が遅かった国はビールを冷やす方法として氷を入れて対応したようです。その他にも、暑くてすぐぬるくなってしまいうからアルコール度数が高いビールを低くするために薄めるため等の諸説あります。東南アジアにお越しの際は、氷入りのビールを飲むのも乙なものかもしれません。

続いて、少し前のNHKの朝ドラマで話題になったウィスキーについて

メコンウィスキーをはじめとするタイ国産ウィスキーは、厳密にはウィスキーではありません。本来、ウィスキーは麦を原料にして作るものですが、タイ国産のウィスキーの原料はお米です。やはりタイはお米の国ですね。（タイはコメ輸出の世界1位・2位が定位置です。）しかし、お米のお酒ですから焼酎の仲間ともいえます。製造方法としては、米と糖蜜を主原料とし、発酵させたものを蒸留し、ウィスキーの香りを付けているそうです。その為、ウィスキーはウィスキーでも、タイオリジナルのタイウィスキーとなります。

実は、私自身はアルコールが弱いので味比べなどの紹介は出来ませんので、ご自身で試してみてください。

補足ですが、タイは年に4度ある仏教の大切な日がいわゆる禁酒日です。上述の日はお酒を飲んではいけない日でなく、お酒を売ってはいけない日です。事前に購入していれば問題ないですが、レストラン等では飲めなくなりますのでタイに旅行に来る際は、タイの仏教系の祝日となっていないか確認をお薦めいたします。また、軍事政権中ですので当分ないとは思いますが、選挙の当日と前日もお酒の購入は出来ません。

島根・ビジネスサポート・オフィス Shimane Busuiness Support Office(Bangkok)

担当；藤井 邦夫 Kunio Fujii

Address :1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,  
Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

Tel :+66-(0)-2-261-10588

Mobile :+66-(0)-89-200-7763

Mail : [shimane-bizsup@aapth.com](mailto:shimane-bizsup@aapth.com)



お気軽にご連絡ください。

当拠点の運営法人(島根県より業務委託)

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インドにて主に日系中堅・中小企業様のアセアン進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

## ワンページタイ経済

項目	単位	2013	2014	2015	2016
GDP 成長率	前年比ベ(%)	2.80	0.9	2.8	2.8(15年)
人口*	千人	68,382	67,065	67,277(11月)	67,277(15年)
労働者の数*	千人	39,808	38,963	39,165	39,165(15年)
失業率**	%	0.72	0.84	0.89	0.91(1月)
最低賃金*	バンコク	300	300	300	300
	チョンブリー	300	300	300	300
	アユタヤー	300	300	300	300
	ラヨー	300	300	300	300
賃金: 全国製造業の平均	パーツ	11,066	12,074	12,305	12,292(1月)
インフレ率**	前年比ベ(%)	2.19	1.90	▲0.90	▲0.53(1月)
中央銀行政策金利*	%	2.25	2.00	1.50	1.50(3月)
普通貯金率**	%	0.68	0.59	0.56	0.47(2月)
ローン金利(MLR) **	%	7.16	6.96	6.75	6.68(2月)
SET 指数*	1975年:100	1,298.7	1,497.7	1,288.0	1,332.4(2月)
パーツ/100円**	パーツ	31.53	30.77	28.31	30.79(2月)
パーツ/米ドル**	パーツ	30.73	32.48	34.25	35.88(2月)
円/米ドル**	円	97.6	105.84	121.0	116.6(2月)
車販売台数(1月からの累計)	台数	1,337,631	884,346	795,905	60,387(1月)
BOI 認可プロジェクト	件数	2,016	1,662	2,237	105(1月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億パーツ	1,027.3	729.4	809.4	10.1(1月)

\*期末、\*\*平均